

第 2 章

氣 象

## 第 2 章 気 象

### 概況（平成 17 年）

#### 1 月

上旬は冬型の気圧配置になる日が多く、気温の低い日が多くなった。中旬と下旬は気圧の谷が数日の周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。

#### 2 月

上旬及び中旬は低気圧が短い周期で通過し、曇りや雨の日が多くなった。下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。

#### 3 月

上旬は前半は気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなった。中旬及び下旬は天気は周期的に変化した。特に 12 日から 13 日は強い冬型の気圧配置となり、13 日には降雪があった。

#### 4 月

上旬は天気は周期的に変化した、気圧の谷の影響は弱く、崩れは小さくなった。中旬は低気圧が接近し期間の初めと終わりに雨が降ったが、中頃を中心に移動性高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。下旬は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。30 日には 4 月としての日最高気温を更新し、日最低気温も高いほうから第 4 位の記録となった。

#### 5 月

上旬は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。7 日は日降水量 28mm のまとまった雨になった。中旬は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した、崩れは小さく、降水量はかなり少なくなった。下旬は期間の初めは気圧の谷の通過で曇りや雨の日があったが、その後は移動性高気圧に覆われて、晴れる日が多くなった。

#### 6 月

上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多く、降水量が少なくなった。中旬は 11 日と 15～16 日は低気圧の通過により雨があったが、その他の日は、高気圧に覆われ晴れの日が多くなった。下旬は期間の初めは低気圧や梅雨前線の影響で雨の日もあったが、期間の後半は太平洋高気圧に覆われ、晴れる日が多く、気温がかなり高くなった。

\*近畿地方は 11 日頃梅雨入り（平成 17 年 6 月 6 日頃、昨年 6 月 6 日頃）したと見られる。

#### 7 月

上旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。3 日から 4 日にかけては大雨となり、降水量も多くなった。中旬は前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなったが、後半は太平洋

高気圧が強まり梅雨前線が北上したため、晴れ間が多くなった。下旬は高気圧に覆われて、晴れて暑い日が多くなったが、25～26 日は台風第 7 号の影響で雨が降った。

\*近畿地方は 18 日頃梅雨明け（平成 17 年 7 月 19 日頃、昨年 7 月 13 日頃）したと見られる。

#### 8 月

上旬は高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなった。中旬は期間の中頃までは低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多くなったが、終わりごろは高気圧に覆われて晴れた。下旬は低気圧や前線、紀伊半島の南東海上を北東に進んだ台風第 11 号などの影響で、曇りや雨の日が多くなった。30 日には、前線と南からの湿った空気の影響で、まとまった雨が降った。

#### 9 月

上旬は期間の中頃に台風第 14 号や秋雨前線の影響で、曇りや雨の日が多くなった。中旬及び下旬は高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなった。

#### 10 月

上旬は秋雨前線の影響で、曇りや雨の日が多くなった。中旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、15 日は前線が通過した影響で雨となった。下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、29 日は前線や四国の南海上を東へ進んだ低気圧で雨となった。

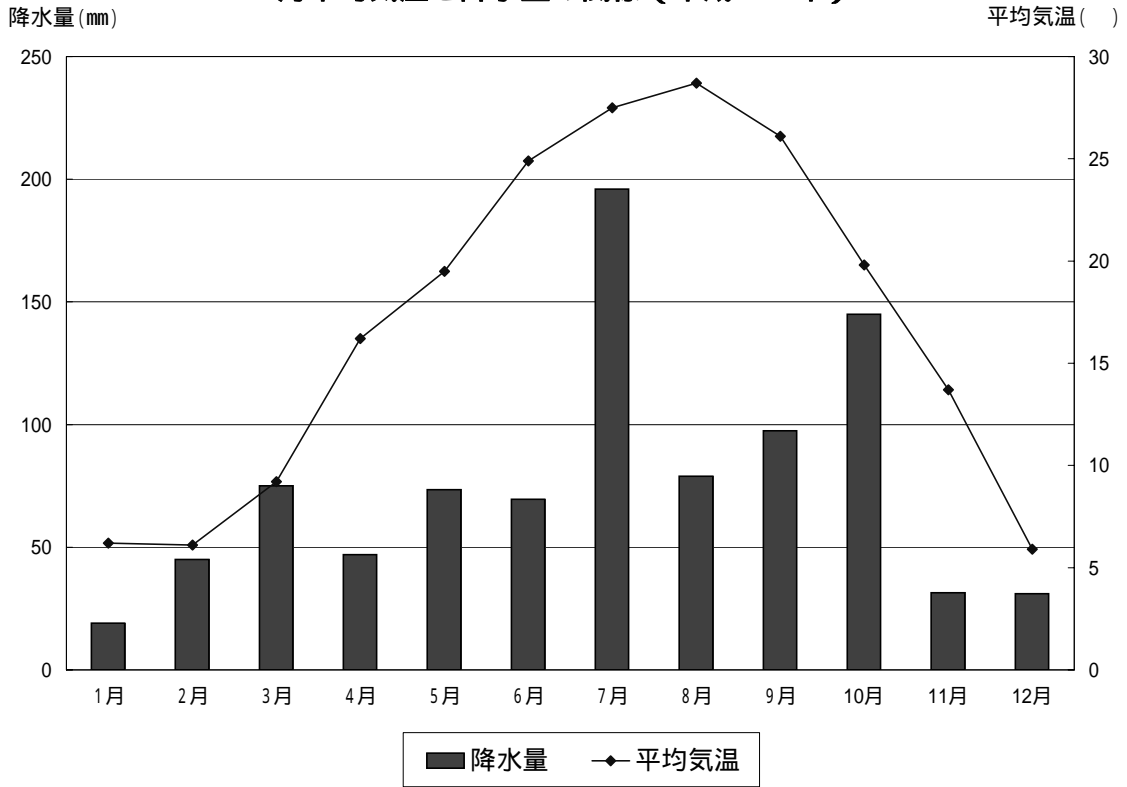
#### 11 月

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。中旬は冬型の気圧配置となり、寒気が入りやすく、気温が平年を下回るが多くなった。下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。

#### 12 月

上旬は冬型の気圧配置となり、寒気が入りやすく、気温は平年を下回る日が多くなった。中旬は強い冬型の気圧配置が続き、気温はかなり低くなった。また、15 日には大阪で初雪を観測した。下旬は冬型の気圧配置となり、寒気が入りやすく、気温は平年を下回る日が多くなった。22 日には大阪で 1 cm の積雪を観測した。

### 月平均気温と降水量の関係（平成17年）



### 月別日照時間（平成17年）

